

長 崎 県 災 害 警 戒 本 部

令和4年4月18日(月) 17時15分現在
連絡先 防災対策室 (TEL 095-825-7855)

眉山における小規模崩落の発生状況について (第1報兼最終報)

1 覚知日時

令和4年4月18日(月) 午前9時37分頃 (県警への110番通報により覚知)

2 被害状況

人的・住家被害等 なし

3 状況

眉山東側斜面において、小規模崩落が発生

※崩落の状況：眉山山頂から約100m下の地点から幅約20m、長さ約30mの規模で崩落

※なお斜面の途中に崩落した岩石及び樹木の堆積が見られるが、直ちに住宅街への影響が及ぶような危険な状況ではない。(林野庁見解)

4 避難情報等及び避難状況

避難情報等の発令、避難者なし

5 その他

参考資料：長崎森林管理署のプレスリリース資料

6 警戒態勢

【設置】

【解散】

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| (1) 長崎県災害警戒本部 | R4.4.18 10:00 | R4.4.18 17:15 |
| (2) 島原地方本部 | R4.4.18 10:00 | R4.4.18 17:15 |

※ 本件は速報値ですので、変更することがあります。

令和4年4月18日

長崎森林管理署

眉山における小規模崩落の発生について

4月18日午前、島原市の眉山において斜面の一部に小規模な崩落が発生しました。現時点でとりまとめた状況について下記のとおりお知らせします。

記

1. 崩壊箇所の状況

- ①本日、午後からヘリコプターによる上空からの現地調査を行ったところ、眉山東斜面（2 溪源頭部）において、20メートル×30メートル程度の崩壊箇所を確認。
- ②現在のところ、崩壊した土砂は国有林内にとどまっており、下流域への流出等はなく、下流域への被害も確認されていない。
- ③眉山一体は急峻な崩壊面における表面剥離が著しく進行しており、長崎森林管理署ではこれまでも特に剥離の進行が著しい箇所については、航空実播工（ヘリコプターによる種子を散布し斜面を緑化）により表面侵食の防止を図るとともに、治山ダム（谷止め工）などにより、下流域への土砂流出対策を行ってきたところ。

2. 今後の対応

- ①学識経験者等による現地調査を実施。
- ②崩落箇所の監視に努め、地域住民の安全安心のために、上記対策を進めて参りたい。

担当者・問い合わせ先

長崎森林管理署長 高木敏 電話0957-41-6911